



2020年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月10日

上場会社名 新日本電工株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5563 URL <http://www.nippondenko.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 白須 達朗
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総務部長 (氏名) 上 直 TEL 03-6860-6800
 四半期報告書提出予定日 2020年11月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第3四半期の連結業績（2020年1月1日～2020年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第3四半期	39,906	△26.4	4,613	—	3,276	—	1,865	—
2019年12月期第3四半期	54,248	△1.8	△1,149	—	△1,639	—	△2,408	—

(注) 包括利益 2020年12月期第3四半期 1,660百万円 (—%) 2019年12月期第3四半期 △3,172百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第3四半期	12.72	—
2019年12月期第3四半期	△16.44	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第3四半期	82,041	—	55,958	—	—	68.1
2019年12月期	85,224	—	54,268	—	—	63.6

(参考) 自己資本 2020年12月期第3四半期 55,896百万円 2019年12月期 54,206百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	—	—	—	—
2020年12月期	—	0.00	—	—	—
2020年12月期（予想）	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年12月期の連結業績予想（2020年1月1日～2020年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	50,000	△29.1	5,000	—	3,500	—	1,500	—	10.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年12月期3Q	146,775,767株	2019年12月期	146,568,067株
② 期末自己株式数	2020年12月期3Q	1,499株	2019年12月期	1,324株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年12月期3Q	146,666,696株	2019年12月期3Q	146,496,268株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記業績予想につきましては、現時点で得られた情報に基づき算定しており、多分に不確定要素を含んでおりますので、実際の業績は予想数値と大きく異なる場合があります。上記の予想に関する事項につきましては、添付資料の2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報」をご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結業績予想に関する定性的情報	3
(3) 新型コロナウイルスに関するリスク情報	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（2020年1月1日から2020年9月30日）における世界経済は、新型コロナウイルスの感染拡大によりマイナス成長に陥っていましたが、経済活動が徐々に再開された結果、第3四半期に入り持ち直しの動きが見られました。日本経済においても、経済活動の再開や外出自粛の緩和影響もあり、回復の動きが見られました。

こうした状況の中、当第3四半期連結累計期間の売上高は前年同期に比べ26.4%減少し39,906百万円（前年同期実績54,248百万円）となりましたが、2019年末に実施した棚卸資産評価による帳簿価額切り下げにより原材料コストが大きく低減したこともあり、営業損益は4,613百万円の利益（同1,149百万円の損失）、経常損益は3,276百万円の利益（同1,639百万円の損失）となりました。親会社株主に帰属する四半期純損益は1,865百万円の利益（同2,408百万円の損失）となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

(合金鉄事業)

当第3四半期連結累計期間における世界の粗鋼生産量は、回復の動きが顕著な中国を除いては軒並み前年同期と比べ減少しており、13億4,926万トンと3.1%の減少となりました。また、国内粗鋼生産量は、第2四半期から実施されている大手高炉メーカーによるバンキング実施などの影響もあり、6,146万トンと前年同期と比べ18.7%の減少となりました。

こうした状況の中、主力製品である高炭素フェロマンガンの製品市況は概ね当初想定に近い水準で推移したものの、前年同期と比較して販売数量は大幅な減少となりました。一方で、原材料コストは、2019年末に実施した棚卸資産評価による帳簿価額切り下げにより大きく低減しました。

以上の結果、合金鉄事業の当期業績は、売上高は前年同期を下回りましたが、営業利益は前年同期を上回りました。

(機能材料事業)

電池材料の販売は、住友金属鉱山からの製造受託事業は軌道に乗ったものの、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、ハイブリッド車向け水素吸蔵合金の販売が大幅に減少したことに加え、昨年実施した一部製品の前倒し販売による一時的な販売増加が無くなった影響で、前年同期を下回りました。

酸化ジルコニウムの販売は、電子部品向け需要が堅調で前年並みとなりました。

フェロボロンの販売は、主力のアモルファス向けの減少に加え、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で鉄鋼向けの販売も減少し、前年同期を下回りました。

以上の結果、機能材料事業の当期業績は、売上高、営業利益ともに前年同期を下回りました。

(環境事業)

環境システム事業につきましては、モバイル型のイオン交換樹脂塔（NDミニクロパック及びSBクルパック）の販売は堅調に推移しましたが、エネファーム用のイオン交換樹脂の販売が減少したため、売上高は前年同期を下回りました。一方、営業利益は、工場原価及び管理費などの減少により前年同期を上回りました。

中央電気工業の焼却灰溶融固化処理事業につきましては、昨年より設備老朽化対策及び操業改善を実施しており、またリサイクルへの社会的ニーズ・評価の高まりを背景に、売上高、営業利益ともに前年同期を上回りました。

以上の結果、環境事業の当期業績は、売上高、営業利益ともに前年同期を上回りました。

(電力事業)

昨年2月に第3発電所が稼働し、FIT（再生可能エネルギー固定価格買取制度）を利用した売電事業体制が整いました。今年は、年初より2ヵ所の水力発電所が順調に稼働したことに加えて、第2四半期は昨年より降雨量に恵まれたため発電増となりましたが、第3四半期に入り降雨量が例年より減少したため累計では発電増加幅が縮小しました。

以上の結果、電力事業の当期業績は、売上高、営業利益ともに前年同期を若干上回りました。

(その他)

その他につきましては、売上高、営業利益ともに前年同期を下回りました。

(2) 連結業績予想に関する定性的情報

通期業績予想につきましては、2020年8月11日に発表した数値を変更していません。

(3) 新型コロナウイルス感染症に関するリスク情報

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う経済活動の停滞により、2020年6月より、鹿島工場において合金鉄製造電気炉の一時的な停炉を実施しています。

一方、足元では、新型コロナウイルスへの感染対策と経済活動の両立により、経済・景気動向の緩やかな回復の動きが出ていますが、依然として収束の見込みは不透明な状況が続いています。今後再び経済活動が停滞し、需要が減少することにより電力事業以外の3事業（合金鉄事業・機能材料事業・環境事業）についてはその影響を受ける可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,599	8,185
受取手形及び売掛金	16,800	13,182
商品及び製品	12,086	12,317
仕掛品	349	251
原材料及び貯蔵品	11,878	11,637
その他	952	1,171
貸倒引当金	△22	△11
流動資産合計	49,645	46,734
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,646	4,829
機械装置及び運搬具(純額)	6,672	8,247
土地	5,298	5,298
リース資産(純額)	3,857	3,719
建設仮勘定	641	148
その他(純額)	316	300
有形固定資産合計	21,433	22,544
無形固定資産	148	146
投資その他の資産		
投資有価証券	11,313	9,586
繰延税金資産	316	469
長期貸付金	1,863	2,011
その他	503	547
投資その他の資産合計	13,997	12,615
固定資産合計	35,579	35,306
資産合計	85,224	82,041

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,792	3,890
短期借入金	9,000	1,000
1年内返済予定の長期借入金	897	1,458
リース債務	131	137
未払法人税等	93	329
賞与引当金	153	454
事業整理損失引当金	314	302
設備関係支払手形	411	51
その他	4,283	2,694
流動負債合計	21,077	10,319
固定負債		
長期借入金	4,090	9,917
リース債務	4,585	4,502
繰延税金負債	371	368
退職給付に係る負債	293	539
その他	538	436
固定負債合計	9,878	15,763
負債合計	30,956	26,082
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,042	11,057
資本剰余金	21,397	21,412
利益剰余金	22,170	24,035
自己株式	△0	△0
株主資本合計	54,609	56,506
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	282	356
繰延ヘッジ損益	△75	6
為替換算調整勘定	△746	△1,105
退職給付に係る調整累計額	136	132
その他の包括利益累計額合計	△402	△609
非支配株主持分	61	62
純資産合計	54,268	55,958
負債純資産合計	85,224	82,041

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
売上高	54,248	39,906
売上原価	50,911	31,419
売上総利益	3,336	8,487
販売費及び一般管理費	4,485	3,874
営業利益又は営業損失(△)	△1,149	4,613
営業外収益		
受取利息	297	30
受取配当金	77	46
物品売却益	—	138
助成金収入	1	85
その他	226	44
営業外収益合計	602	345
営業外費用		
支払利息	371	372
持分法による投資損失	475	816
操業休止関連費用	0	329
その他	245	163
営業外費用合計	1,092	1,682
経常利益又は経常損失(△)	△1,639	3,276
特別利益		
関係会社株式売却益	53	—
投資有価証券売却益	153	27
関係会社清算益	3	—
特別利益合計	209	27
特別損失		
固定資産除却損	453	378
ゴルフ会員権評価損	4	—
減損損失	—	275
投資有価証券評価損	—	498
特別損失合計	457	1,152
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,887	2,151
法人税、住民税及び事業税	164	361
法人税等調整額	354	△76
法人税等合計	519	284
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△2,406	1,867
非支配株主に帰属する四半期純利益	1	1
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,408	1,865

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△2,406	1,867
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△331	74
繰延ヘッジ損益	△17	91
退職給付に係る調整額	20	△3
持分法適用会社に対する持分相当額	△437	△368
その他の包括利益合計	△765	△207
四半期包括利益	△3,172	1,660
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△3,174	1,658
非支配株主に係る四半期包括利益	2	1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(会計上の見積り)

当社グループは、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が少なくとも一定期間続くことを前提として、固定資産の減損会計や繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを行っております。しかしながら、新型コロナウイルス感染症拡大による影響は不確定要素が多く、将来の財政状態、経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	合金鉄 事業	機能材料 事業	環境 事業	電力 事業	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	35,595	9,161	3,769	938	49,465	4,783	54,248	—	54,248
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	55	112	25	—	193	170	364	△364	—
計	35,651	9,274	3,794	938	49,659	4,953	54,612	△364	54,248
セグメント利益 又は損失 (△)	△3,381	1,099	433	525	△1,323	174	△1,149	—	△1,149

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に化学品等販売事業、その他子会社事業となります。

2. 報告セグメント利益又は損失の合計は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	合金鉄 事業	機能材料 事業	環境 事業	電力 事業	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	23,275	7,111	4,426	945	35,758	4,148	39,906	—	39,906
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	61	109	19	—	189	132	322	△322	—
計	23,336	7,220	4,445	945	35,948	4,280	40,229	△322	39,906
セグメント利益	2,056	817	1,131	525	4,532	81	4,613	—	4,613

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に化学品等販売事業、その他子会社事業となります。

2. 報告セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「合金鉄事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては275百万円であります。